

岡山県産後ケア実態調査

結果概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

産後ケアを受入れる施設やサービスの提供体制等に地域間で差があることや、利用のしにくさ等の課題があることから、市町村が実施する産後ケア事業について、県内のサービスを必要とする全ての産婦が支援を受けられる体制を整えるために必要な実態の把握を行うことを目的とします。

(2) 調査方法

<県民調査>

調査地域	岡山県全域
抽出方法	岡山県に居住する0歳から3歳までの子どもがいる世帯の中から無作為抽出
調査方法	郵送配布・回収(インターネットによる回答を併用)
調査対象	1,985 世帯
調査時期	令和6年7月 31 日～令和6年9月 30 日
有効回収数	959 票(回収率 48.3%)

<医療機関等調査>

調査地域	岡山県全域
調査方法	郵送配布・回収(インターネットによる回答を併用)
調査対象	産科医療機関・助産所(72機関)
調査時期	令和6年7月 31 日～令和6年9月 30 日
有効回収数	54 票(回収率 75.0%)

<市町村調査>

調査地域	岡山県全域
調査方法	メールによる配布・回収
調査対象	27 市町村
調査時期	令和6年7月 31 日～令和6年9月 30 日
有効回収数	27 票(回収率 100.0%)

(3) 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してあり、これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合があります。
- 2つ以上の回答(複数回答)を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがあります。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。

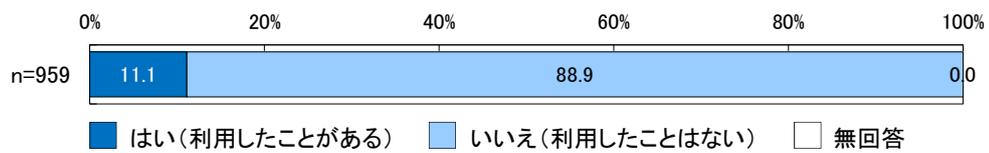
2 県民調査の結果

(1) 産後ケア事業の利用経験

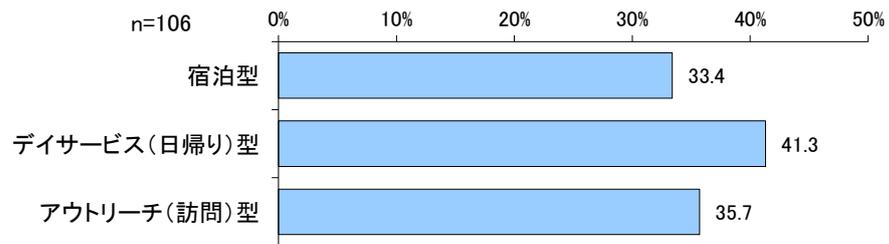
① 産後ケア事業の利用経験

産後ケア事業を利用した経験がある割合は 11.1%となっており、産後ケア事業を利用した経験がある人のうち、利用した事業の類型は、「宿泊型」が 33.4%、「デイサービス（日帰り）型」が 41.3%、「アウトリーチ（訪問）型」が 35.7%となっています。

【産後ケア事業の利用経験】



【利用した産後ケア事業の類型(利用した経験がある人)】

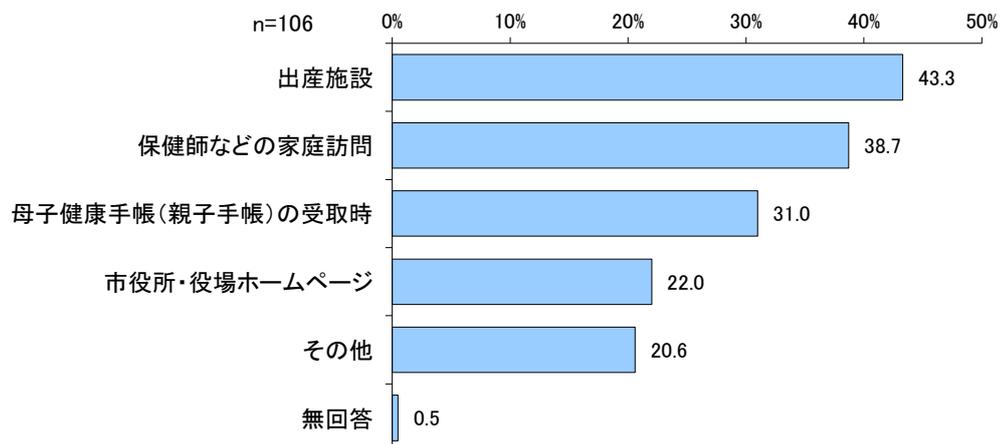


② 産後ケア事業を知ったきっかけ

産後ケア事業を知ったきっかけについて、「出産施設」、「保健師などの家庭訪問」、「母子健康手帳（親子手帳）の受取時」が上位となっています。

※産後ケア事業を利用した経験がある人のみ

【産後ケア事業を知ったきっかけ】



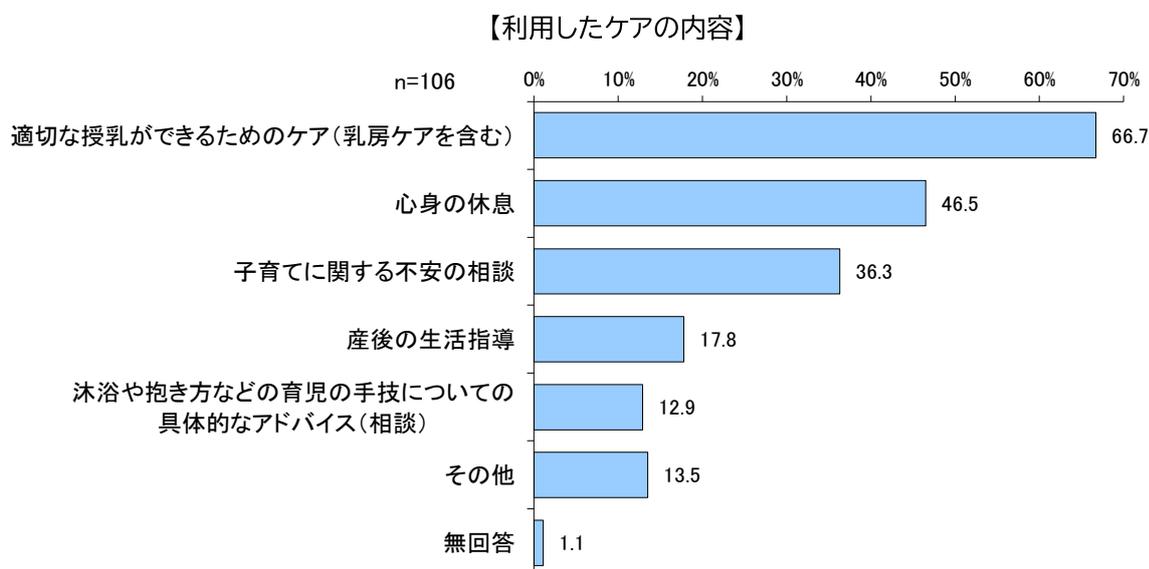
【その他の内容】

内容	件数
友人・知人から	10
身内（母や兄弟姉妹）から	5
助産師から	4
Instagramから	3
YouTubeから	1

③ 利用したケアの内容

産後ケア事業で利用したケアについて、「適切な授乳ができるためのケア（乳房ケアを含む）」と回答した割合が66.7%と最も高く、「心身の休息」、「子育てに関する不安の相談」が続いています。

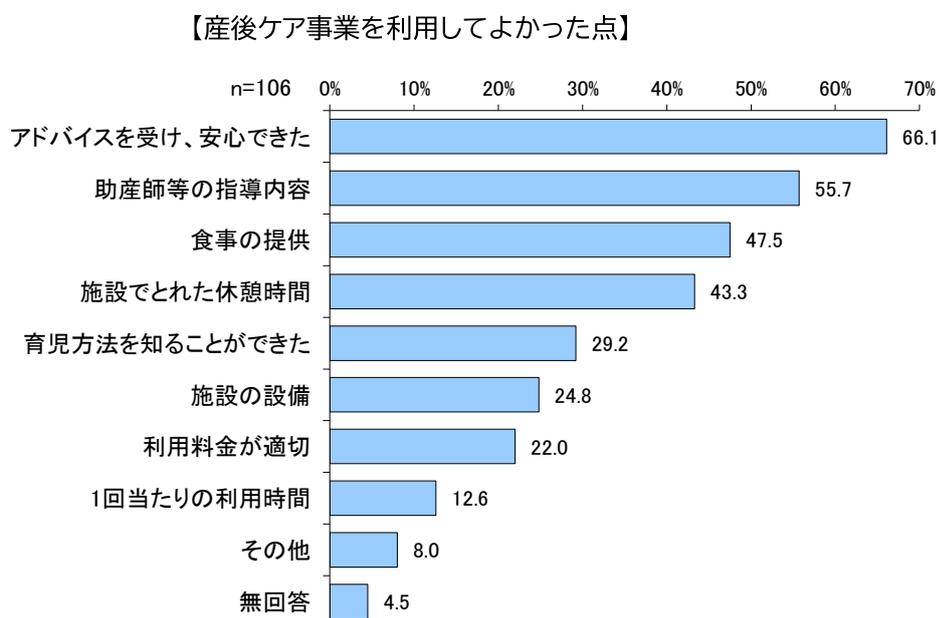
※産後ケア事業を利用した経験がある人のみ



④ 産後ケア事業を利用してよかった点

産後ケア事業を利用してよかった点について、「アドバイスを受け、安心できた」と回答した割合が66.1%と最も高く、「助産師等の指導内容」、「食事の提供」、「施設でとれた休憩時間」が続いています。

※産後ケア事業を利用した経験がある人のみ

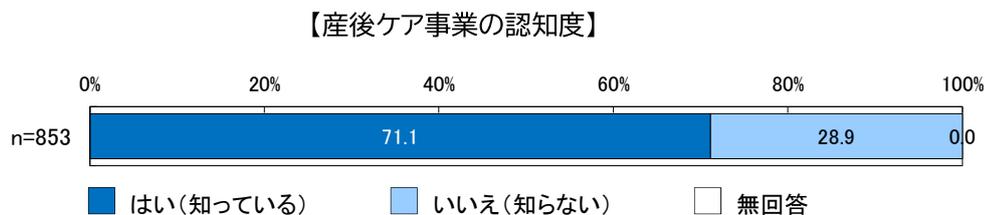


(2) 産後ケア事業の認知度・利用意向

① 産後ケア事業の認知度

産後ケア事業を利用していない人のうち、事業を「知っている」と回答した割合は71.1%となっています。

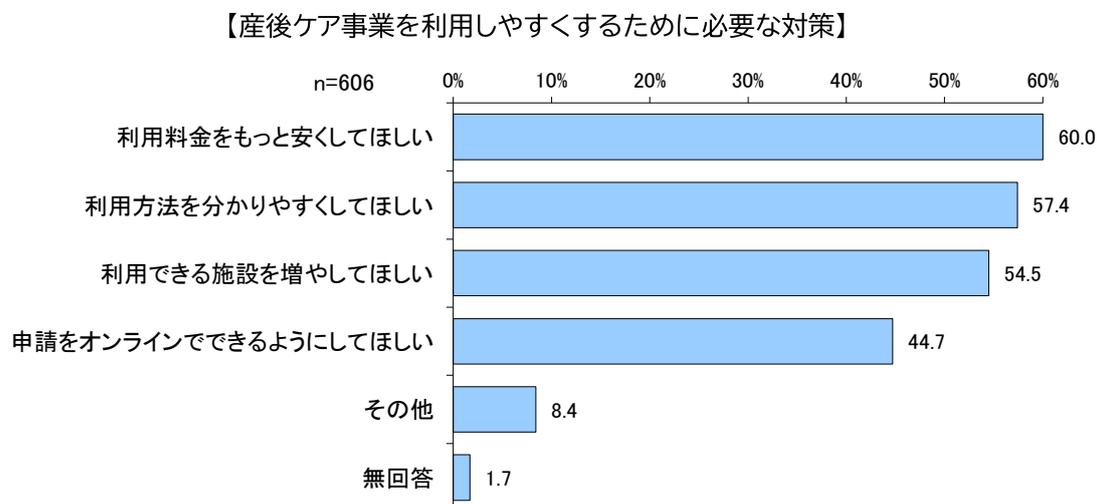
※産後ケア事業を利用した経験がない人のみ



② 産後ケア事業を利用しやすくするために必要な対策

産後ケア事業を利用しやすくするために必要な対策について、「利用料金をもっと安くしてほしい」と回答した割合が60.0%と最も高く、「利用方法を分かりやすくしてほしい」、「利用できる施設を増やしてほしい」が続いています。

※産後ケア事業を利用した経験がない人のうち、産後ケア事業を知っている人のみ



③ 産後ケア事業の利用意向(利用経験のない人のみ)

産後ケア事業を「利用したいと思う」と回答した割合が49.8%となっています。
また、「利用したいと思わない」と回答した割合も50.2%となっています。

※産後ケア事業を利用した経験がない人のうち、産後ケア事業を知らない人のみ

【産後ケア事業の利用意向】

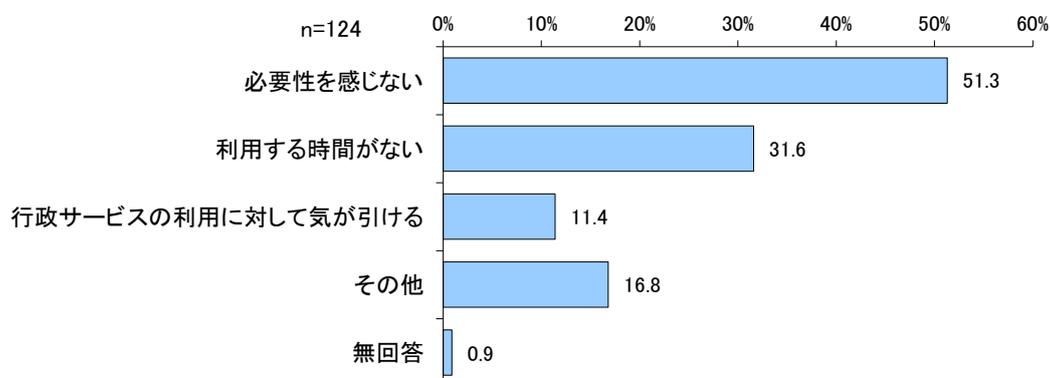


④ 産後ケア事業を利用したくない理由

産後ケア事業を利用したくない理由について、「必要性を感じない」と回答した割合が51.3%と最も高く、次いで「利用する時間がない」となっています。

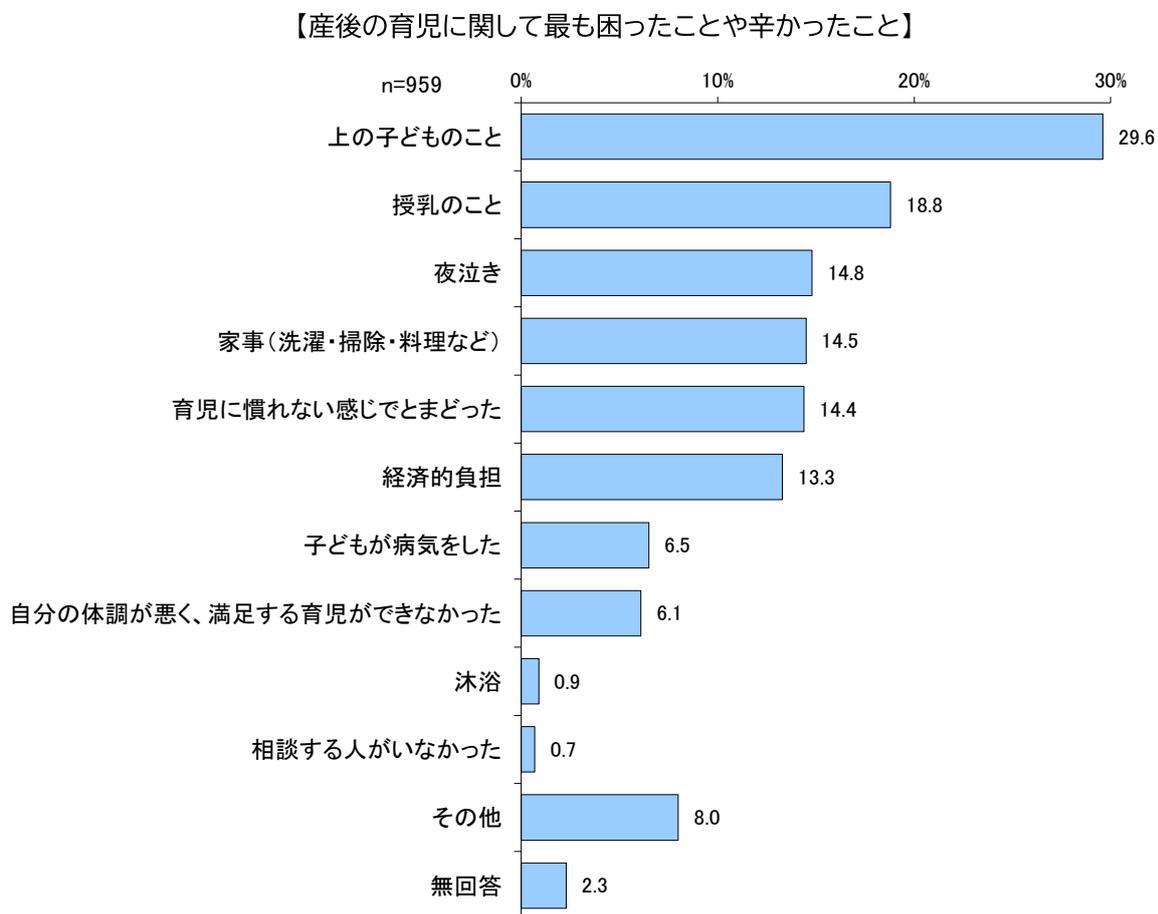
※産後ケア事業を知らない人のうち、産後ケア事業を利用したいと思わない人のみ

【産後ケア事業を利用したくない理由】



(3)産後の育児に関して困ったことや辛かったこと

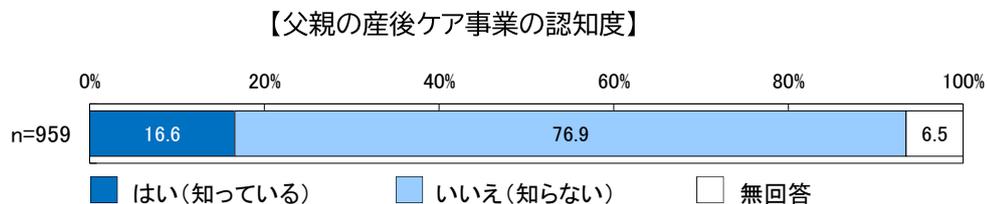
産後の育児に関して困ったことや辛かったことについて、「上の子どもしたこと」と回答した割合が29.6%と最も高く、次いで「授乳のこと」となっています。



(4) 父親(パートナーを含む)の子育てについて

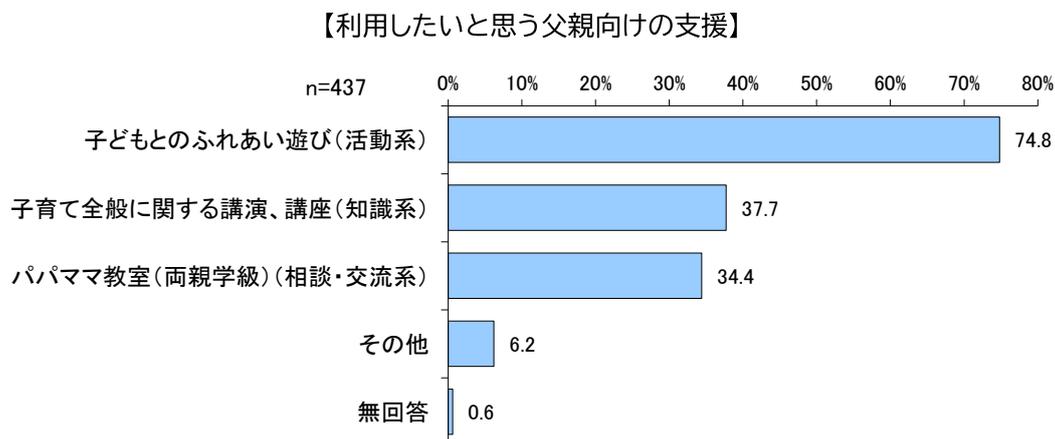
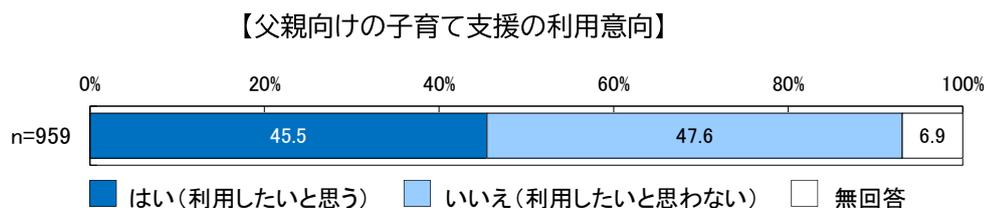
① 父親の産後ケア事業の認知度

父親の産後ケア事業の認知度について、「知っている」と回答した割合が16.6%となっています。



② 父親向けの子育て支援の利用意向

父親向けの子育て支援について、「利用したいと思う」と回答した割合が45.5%となっており、支援の内容は「子どもとのふれあい遊び(活動系)」が74.8%となっています。



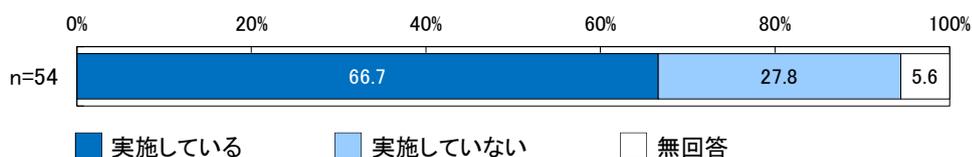
3 医療機関等調査の結果

(1) 産後ケア事業の実施状況

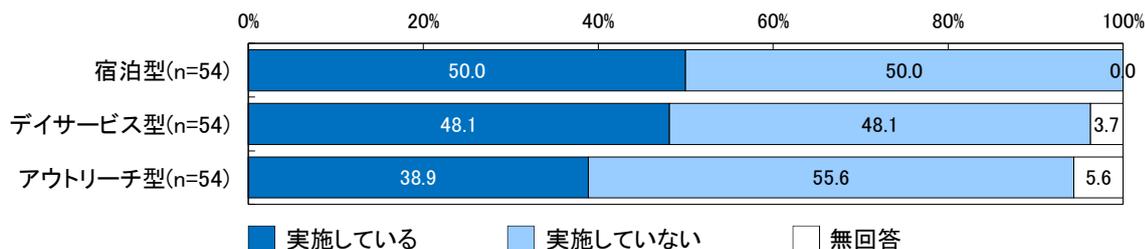
① 産後ケア事業の実施状況

産後ケア事業の実施状況について、産後ケア事業を実施している医療機関等は回答のあった54件のうち、36件であり、66.7%となっています。宿泊型で50.0%、デイサービス型で48.1%、アウトリーチ型で38.9%となっており、実施類型数が「3類型とも実施」に該当する割合が16.7%となっています。

【産後ケア事業の実施状況】



【事業類型別の実施状況】



【産後ケア事業の実施類型数】

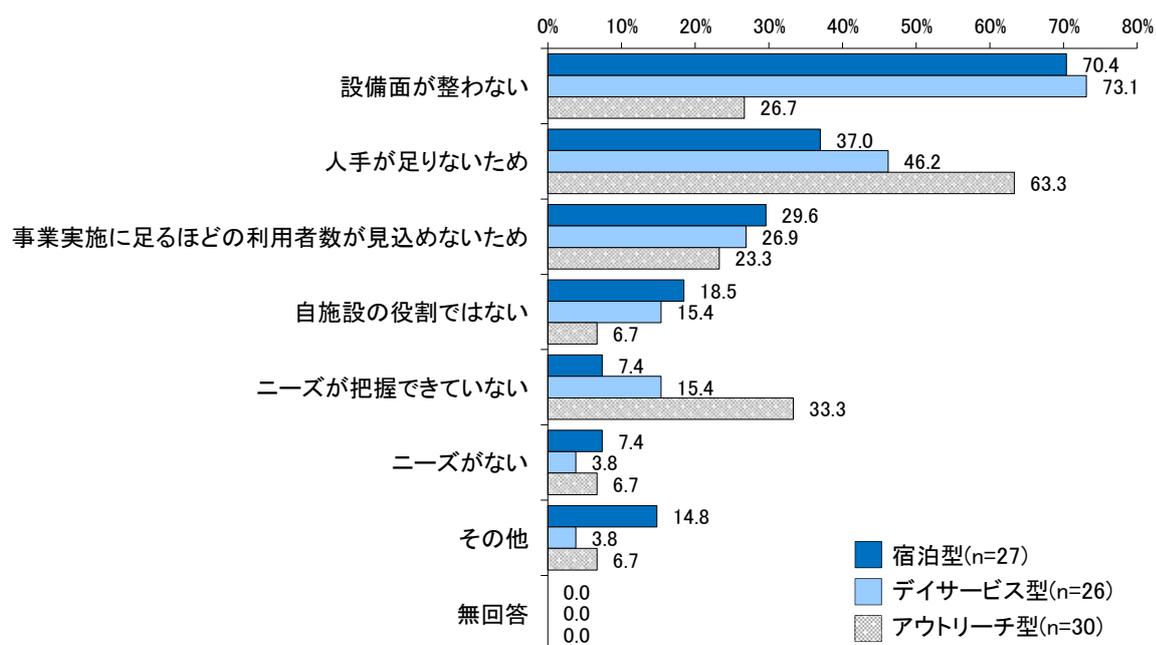


② 産後ケア事業を実施していない理由

産後ケア事業を実施していない理由について、宿泊型、デイサービス型では「設備面が整わない」、アウトリーチ型では「人手が足りないため」と回答した割合が最も高くなっています。

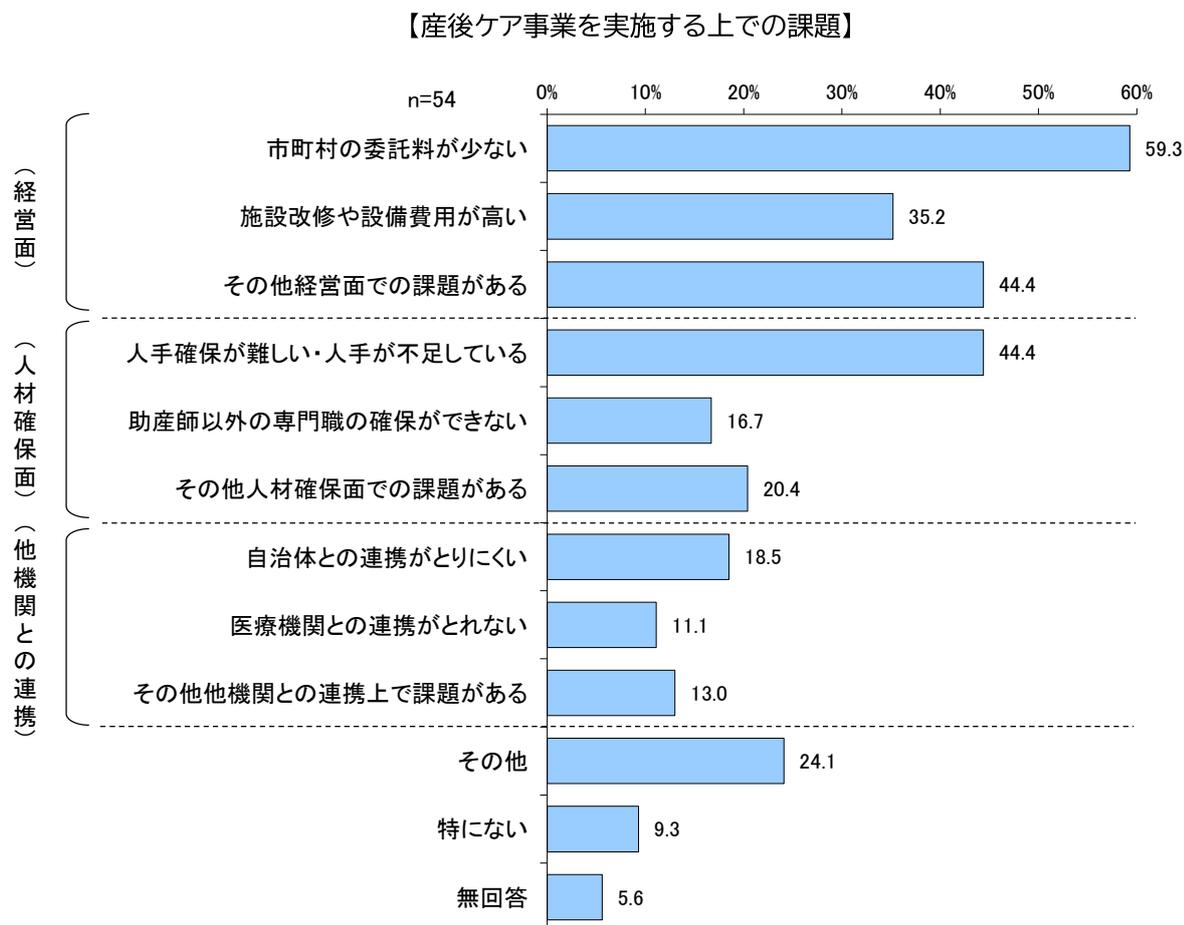
※産後ケア事業を実施していない医療機関等のみ

【産後ケア事業を実施していない理由】



(2) 産後ケア事業の実施における課題

産後ケア事業を実施する上での課題について、経営面では「市町村の委託料が少ない」と回答した割合が59.3%、人材確保面では「人手確保が難しい・人手が不足している」と回答した割合が44.4%、他機関との連携では「自治体との連携がとりにくい」と回答した割合が18.5%となっています。



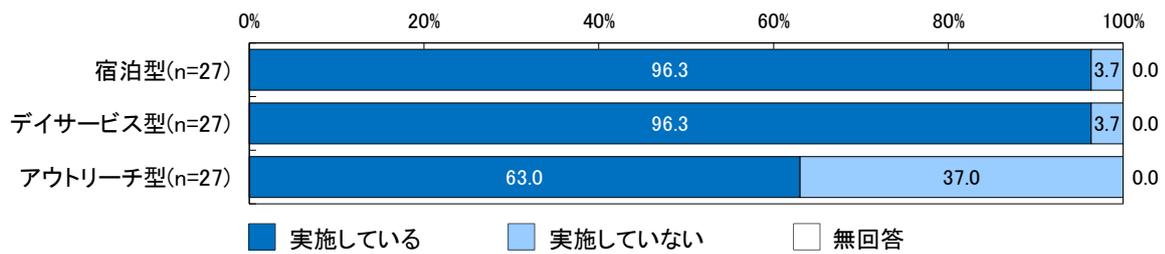
4 市町村調査の結果

(1) 産後ケア事業の実施状況

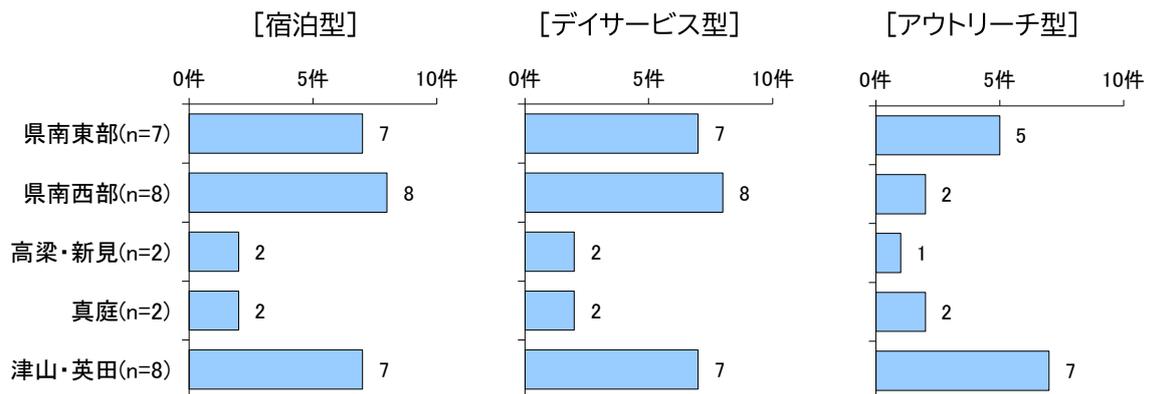
① 産後ケア事業の実施状況

産後ケア事業の実施状況について、宿泊型で96.3%、デイサービス型で96.3%、アウトリーチ型で63.0%となっています。

【産後ケア事業の実施状況】



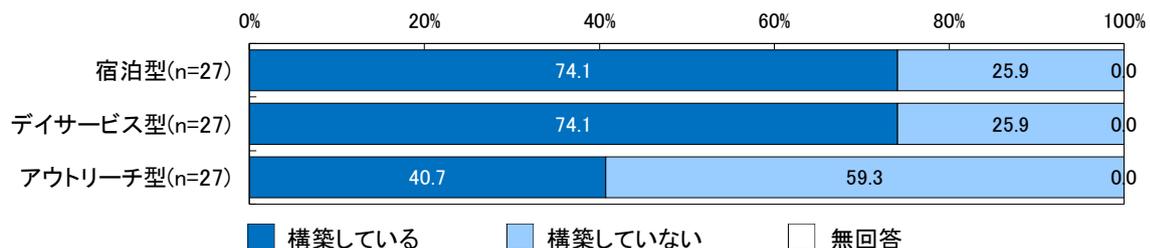
【産後ケア事業の実施状況(二次保健医療圏域別)】



② 市町村を越えて利用できる仕組みの構築状況

市町村を越えて利用できる仕組みを「構築している」と回答した割合は、宿泊型で74.1%、デイサービス型で74.1%、アウトリーチ型で40.7%となっています。

【市町村を越えて利用できる仕組みの構築状況】

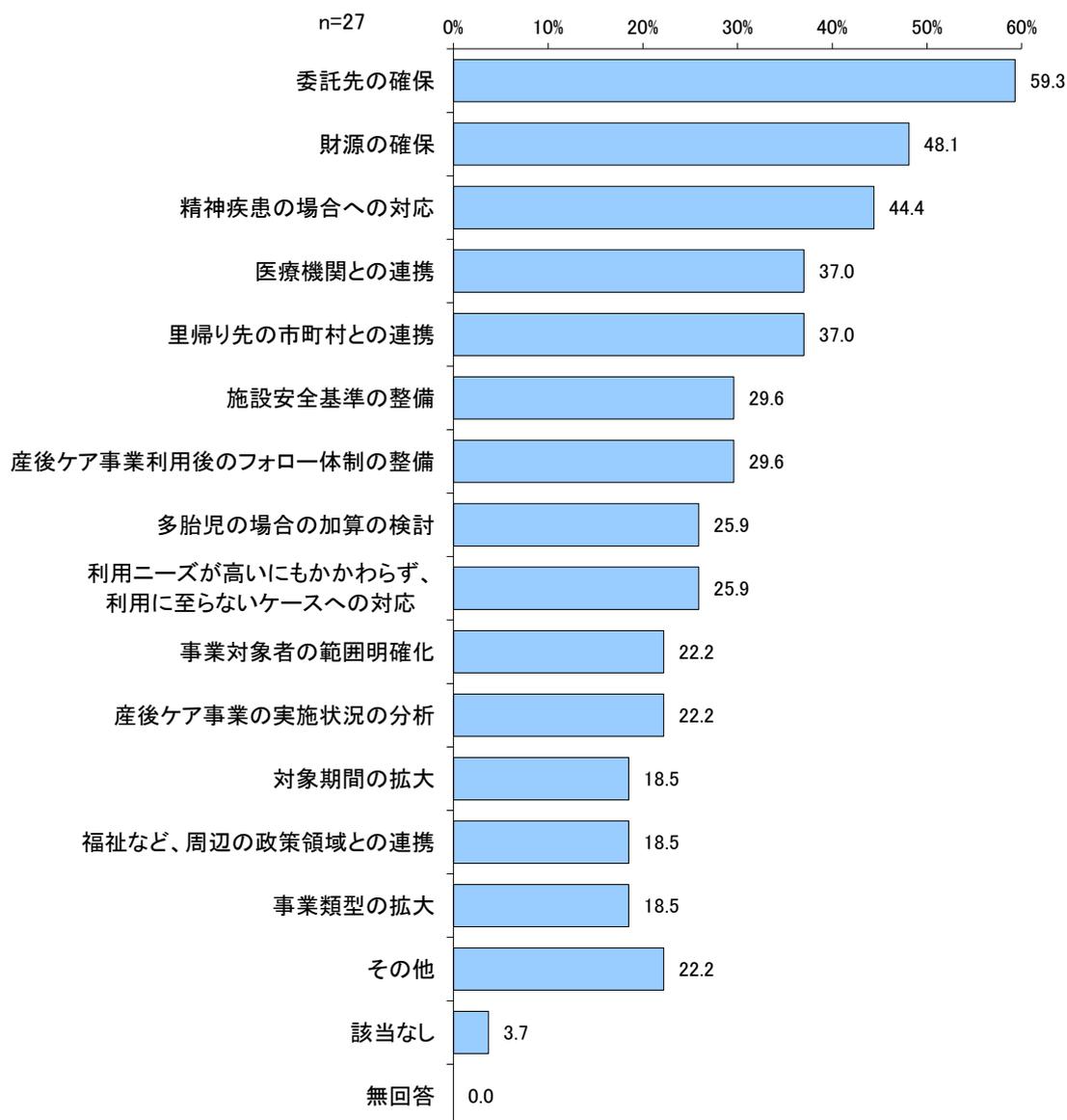


(2) 産後ケア事業を実施する上での課題・望む支援

① 産後ケア事業を実施する上での課題

産後ケア事業を実施する上での課題について、「委託先の確保」と回答した割合が59.3%と最も高く、「財源の確保」、「精神疾患の場合への対応」が続いています。

【産後ケア事業を実施する上での課題】



② 産後ケア事業の実施に際して県に望む支援

産後ケア事業の実施に際して県に望む支援について、「集合契約等域内での契約実務の支援」と回答した割合が88.9%と最も高く、「市町村や委託事業者の事業の実施を支援するための金銭的補助」、「利用者の自己負担額を軽減するための金銭的補助」が続いています。

【産後ケア事業の実施に際して県に望む支援】

